日本ビジネス航空協会 会報

2025 年 11 月号



CONTENTS

◇ NBAA-BACE 出張報告

1 ページ

◇ 【会員限定】国内空港発着実績(2023・2024)の公開について

6 ページ

NBAA-BACE 出張報告

2025年11月1日

JBAA 事務局

【概要】

去る 10 月 14 日(火)~16 日(木)、アメリカ合衆国 Las Vegas にて NBAA-BACE 2025 が行われた。また、今回の BACE の出張の機会を利用し、JBAA 伊東会長と NBAA 会長の Ed Bolen 氏との懇談、および BACE に初出展した東京都(総務局・都市整備局)と NBAA SVP(※1)の Doug Carr 氏との懇談の場を設定した。更に、出張の経由地であるサンフランシスコ国際空港(SFO)とラスベガス(ハリー・リード)国際空港(LAS)の FBO の視察を行ったので、併せて報告を行う。



(X1 SVP: Senior Vise President)

【出張スケジュール】

- a) Signature 社 FBO 視察 · · · 10 月 12 日(日)、13 日(月)
 12 日(日) SFO Signature FBO 視察
 - 13日(月) LAS Signature FBO 視察
- b) NBAA/BACE 2025 ··· 10 月 14 日(火)、15 日(水)、16(木)
 - 14日(火) 出展ブース視察 @ Las Vegas Convention Center
 - 15 日(水) Static Display 視察 @ Henderson Airport
 - 16日(木) NBAA と懇談
- c) IBAC Governing Board Meeting 出席 · · · 10 月 17 日(金)



LAS の Signature 社のエントランスエリア



初出展の東京都のブース



オープニングで挨拶する NABB Ed Bolen 会長

【Signature 社 FBO 視察 報告】

今年はサンフランシスコ国際空港(SFO)とラスベガス(ハリー・リード)国際空港(LAS)の2 箇所のFBOの視察を行った。これで昨年視察を行ったロサンゼルス国際空港(LAX)と併せて、3か所のSignature 社FBOの視察となった。3ヵ所何れもFBOとして備えている施設や提供しているサービスに大きな違いはないが、顧客ニーズに合わせた違いも伺えた。

SFOとLAXのFBOにおいては、Signature 社独自の格納庫を保有していたが、LASのFBOでは独自の格納庫は保有していなかった。格納庫は主に定置場として顧客にリースしている様で、SFOやLAXの様にビジネスの拠点となる大都市圏の空港では定置場としてのニーズが高い事が伺えた。



SFO FBO の Signature 社の格納庫



LAS FBO 前の駐機スポットエリア

一方、発着実績で全米ベスト3に入るLASのFBOに格納庫が無いのは、定置場としてのニーズより、LASを目的地とした来訪機の駐機場としてのニーズの方が高いという事と推測できる。加えて、LASではSignature社が管理しているビジネスジェットターミナル前のエリアだけでも、決められた区画のスポット利用で数十機、区画に拘らず詰め込めば100機程度駐機できるとの説明があった。この事から、管理エリアの中に格納庫を建てるより、より多くの駐機を可能とする「顧客の使用実績/ニーズに合わせた施設展開」を行っているのだと理解した。今後の日本国内の空港内でのFBO展開にも参考になる視察であった。

また、LASではFBOに隣接するGAエリアに「ビジネスジェット運航会社」、「チャーター会社」、「大規模カジノホテルのグループのAviation部門」等が拠点を構え、格納庫も備えている事から、FBO利用者(機材)が駐機/整備事由で格納庫利用の必要がある場合でも、外部の施設を利用/委託する代替手段が備わっている事も、Signature社が独自で格納庫を保有しない理由になっているのではないかと推察した。



隣接エリアにある JSX 社の格納庫(LAS)

最後に余談になるが、SFO の FBO のラウンジエリアに、お客様(人間)用のコーヒーやスナックが準備されているのと同様に、ペット用のミール・スポットが準備されていた。ペットにもサービスを提供してくれる姿勢は家族同様にペットを愛しているお客様には嬉しいサービスであると共に、ビジネスジェットにはペットも当たり前に同乗できる事を実感した。



ペット用のミール・スポット(SFO)

【NBAA-BACE 2025 報告】

10月14日(火)~16日(木)の3日間、ビジネスジェットの展示会としては世界最大規模の催しである『NBAA-BACE 2025』が、Las Vegas Convention Center (以下 LVCC)で開催された。BACE に参加する度、世界におけるビジネスジェットの市場規模、産業としてのすそ野の広さや従事する人員の多さを実感すると共に、日本のビジネスジェット業界との違いを目の当たりにし、JBAAの取り組みの充実に向けて気持ちを新たにした。



LVCC ウエストホール 出展エリアの様子 ①



LVCC ウエストホール 出展エリアの様子 ②

今回の出張では、JBAA と NBAA の両会長の懇談の実現が目的の 1 つであり、JBAA からは伊東会長、田村副会長、岩戸の 3 名、NBAA からは Ed Bolen 会長、Doug Carr SVP の 2 名の出席のもと懇談を実施した。 JBAA からは日本におけるビジネスジェット業界の状況、ならびに「日本人の多くはビジネスジェットを富裕層が使うぜいたく品と捉えている」というマインド面での課題についても紹介した。 Ed Bolen 会長からは、アメリカでビジネスジェットは Efficiency かつ Productive なビジネスツールとして認知されており、多くの人たち・目的で利用されているとコメントがあった。 また、国土の広さや、公共交通機関の充実の違いもあり、日本におけるビジネスジェットの普及に向けては、日本独自の取り組みが必要である事を双方が認識を深める機会となった。



JBAAとNABB の懇談の様子



東京都とNABB の懇談の様子

JBAA と NBAA の懇談に引き続き、今年 BACE 初出展を行った東京都(総務局と都市整備局)と Doug Carr SVP で懇談会を行った。この懇談の内容や、東京都の出展に関する報告は、次回の会報(2026年1月発行予定)での掲載を予定している。

Henderson Airport では、Bombardier、Textron、Gulfstream などの主だった機体メーカーが Static Display に出展していた。Gulfstream は今年の 4 月に FAA および EASA の認証を取得した G800 をはじめ、G600、G700 等全 5 機種の展示を行っており、営業活動にもかなり力が入っていた。また、Bombardier は Global6500/7500 および Challenger3500、Textron も CITATION CJ4/ LATITUDE/ LONGITUDE/ ASCEND と、各社主力機種を揃え、積極的な営業活動を行っていた。



Gulfstream 社の Static Display 左から G600、G400、G800、G700



Bombardier 社の Static Display 左から Global 7500、Challenger 3500、Global 6500

我々も事前にアポイントを入れ、各メーカーの実機の見学をさせて頂いた。見学の際、各機種の性能や客室内部の特徴などを実機と共に説明をして頂き、各社で競合する機種の関係なども理解が深まった。会場には実際にビジネスジェットの購入を検討していると思われる富裕層、購入担当者を数多く見かけ、パイロットらしき方とはコックピットの操縦席に座り操作に関する説明/確認、購入担当者らしき方とは客室内の詳細機能/仕様の確認等、双方真剣なやり取りを行っており、ビジネスジェットの売買が珍しくない事を実感した。



Textron 社の Static Display の様子 左から CITATION CJ4、ASCEND、LONGITUDE、LATITUDE

一方で、日本にとっては馴染みがある Honda Jet は、昨年に続き今年も出展は無かった。現在開発中の「Echelon」の名称を 2023 年の BACE にて発表したのが直近では最後の出展となっている。「Echelon」は 2026 年度の初飛行、2028 年の型式承認取得を目指している事もあり、機体メーカー各社は、機体の販売に効果的なタイミングを見極め、出展の是非を決定しているのではないかと推察された。

全体的には盛況な BACE であったが、若干の変化を感じた部分もあった。コロナ禍以降、BACE に関しては「出展者の減少」や「出展ブースの縮小」という噂がささやかれていた。今年の出展ブースの会場は、昨年と同じ LCVV の West Hall が使用されたが、良く見ると会場

内の端や奥には空きの出典スペースが目立ち、碁盤の目に仕切られたワンブロック丸々空いているエリアには椅子とテーブルで急ごしらえの休憩所がセットされていた。今年はこの様な休憩/打合せスペースが多くあり、噂を裏付ける状況が見受けられた。





会場内の端のエリアには、この様な空きスペースと休憩場所が多く見られた

JBAA は「2019 年度以来途絶えている JBAA としての NBAA-BACE 出展に関して、その目的や具体的出展内容等の検討を行う」と今年度の事業計画で謳っています。出展したら即結果が出る取り組みではないが、JBAA としての過去の出展内容の見直しや、会員の出展に関する意向/動向を加味して検討を行いたい。

【IBAC Governing Board (Meeting 82) 報告】

BACE 終了の翌日、10 月 17 日(金)に、定例の IBAC Governing Board Meeting (Meeting 82)が行われた。本 Meeting でも JBAA に伊東新会長が就任した事を IBAC メンバーに紹介した。 Meeting では多くの議題に関して説明や議論が行われたが、その中で報告のあった「IBAC2025-2030 戦略方針」について補足する。



IBAC Governing Board Meeting の様子

「IBAC2025-2030 戦略方針」では、「組織基盤の強化」、「メンバー間の連携強化」、「政策提言」、「データ収集・分析力の向上」等、現在 JBAA でも取り組むべき内容、方向性と一致する部分が多く見られた。一方、戦略や施策の実現のためには、必要な組織や人的手配のために多くの資金を必要とするという事にも触れていた。我々JBAA もまったく同じ状況であり、自立に向けた活動の充実と、安定した収入の確保について、JBAA 内部の議論/実行を深めていきたい。

以上

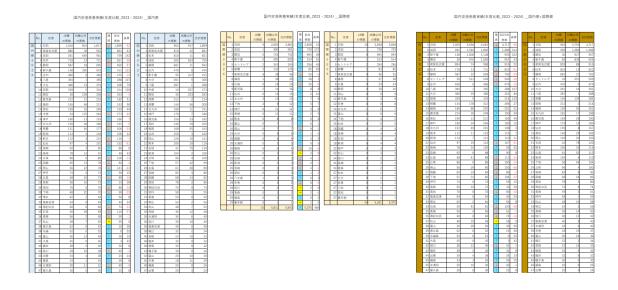
【会員限定】国内空港発着実績(2023・2024)の公開について

JBAA 事務局

予てからお知らせしておりました、「国内空港発着実績(2023・2024)」を、JBAA HP で公開しております。本実績は、各年(1月~12月)の日本の国内空港の発着(出発で1回、到着で1回)の回数について、集計したものになります。

また、集計に当たり、回数以外は機体の登録が「日本」または「日本以外」の区分けのみをしております。先ずは本実績をご確認頂き、個別に別の切り口のデータ集計をご希望の場合、JBAA事務局までお問い合わせをお願い致します。(会員限定)

皆様からご要望の多かったデータにつきましては、今回会員限定で公開した発着実績のデータに加え、データの収集/集計について検討を致します。



以上